

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年1月13日

【評価実施概要】

事業所番号	270500549		
法人名	社会福祉法人青森民友厚生振興団		
事業所名	青山荘グループホーム		
所在地 (電話番号)	〒037-0011 青森県五所川原市金山字盛山42番地8 (電話) 0173-35-4252		
評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 19年 11月 13日	評価確定日	平成 20年 1月 13日

【情報提供票より】(平成 19年 10月 24日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 16年 3月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	7 人	常勤 7人, 非常勤 人, 常勤換算	6人

(2) 建物概要

建物構造	木造平屋造り		
	1階建ての	階 ~	1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	10,500 円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円)	(無)	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000円		

(4) 利用者の概要(10月 24日現在)

利用者人数	9 名	男性 3 名	女性 6 名
要介護1	3 名	要介護2	2 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	名	要支援2	名
年齢	平均 84.55 歳	最低 77 歳	最高 98 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	佐藤内科小児科医院・布施病院(精神科)・成田歯科・桂整形外科
---------	--------------------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

広い敷地には庭木が植えられ、春には花見、秋には紅葉など四季を通して楽しめる環境である。ホールや居室からも眺めることができ心を和ませる。同法人の施設も隣接され施設間の交流も良好であり、協力体制も万全である。台所にはアイランド型が導入されており、職員、入居者が対面して食事の準備、後片付けができ、入居者と共に家事を行っているという雰囲気が強く感じられる。また台の高さを低くする等、車いすの方でも使いやすいように配慮されている。
町内会に加入し、地域の情報収集に努め、地域の行事にも積極的に参加している。日々の業務においても管理者、職員は理念を念頭に置き、個々の入居者の笑顔あふれる明るい生活の実現に向けて取り組んでいる。居室やホールも明るく、適所にくつろげる空間が作られており、一人ひとりが思い思いの時間を過ごす事が出来るように配慮されている。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	全職員で課題についての話し合いが行われており、運営推進会議においても報告し意見を頂き改善に向けて取り組んでいる。契約書、重要事項説明書(退所要件、苦情受付等)について、家族が納得できるように丁寧に説明が行われており、入居者の権利、義務においても記載され説明している。介護計画の見直しは身体状況はもちろんの事、入居者の生活活動における評価も行われており、ケアプランにも反映されている。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	職員全員で自己評価に取り組んでいるため、個々において現状のサービスを見つめ直す事ができている。得られた気づきを改善に向けて職員一丸となって取り組んでいる。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議は定期的開催されており、地域の方々、市の職員、入居者、家族が参加されている。外部評価について話し合われているほか、地域の情報収集及び緊急時の協力体制について検討がなされている。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10, 11)
	面会の際に意見や苦情を引き出せるように配慮するとともに、玄関に意見箱を設置し多くの意見が得られるように取り組んでいる。面会の際に生活状況を家族に伝えているが、遠方の家族に対しては定期的な状況報告がされていない。家族に報告頻度及び報告方法について同意を得た上で状況を報告することが望まれる。入院時の取り決めや苦情受付について十分に説明が行われており、入居前にはホームの中を見て頂き不安なく入居できる様に配慮されているが、重度化に向けたホームとしての取り決めに対する話し合いが行われていない。家族の要望を受け入れ、入居後も不安なく生活が続けられる様に今後の取り組みが期待される。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	住民協議会に加入し地域の情報収集に努め、行事の誘いを受ける等、地域との密着度が高く、行事にも積極的に参加している。児童館とのつながりについても検討しているとの積極的な意見も聞かれ、今後の取り組みが期待される。

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	職員全員で、地域の中でどういう生活を望むかを考え、その思いを理念としている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念は毎朝ミーティング時に確認している。職員には理念が浸透しており日々の業務の中に取り入れている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	デイサービスには同じ地区の方が多く来ている為、日常的に交流がある。住民協議会(町内会)に入っており地区の収穫祭への誘いがあり参加している。また、地区の人にも楽しみにしてくれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>職員全員が自己評価を行う事により、日頃の業務見直しができ、改善へと繋がっている。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>3ヶ月に1回実施しており、運営推進委員会のメンバーは地域の方々の他、利用者、家族も参加している。外部評価の内容報告もその中で行われている。地域の情報収集及び緊急時の協力体制についても検討されている。</p>		
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>月1回、地域ケア会議で状況報告を行っている。困難事例等へのアドバイスを頂く等、サービスの質の向上に取り組んでいる。又、運営推進会議の際、施設のパフレットや広報誌を地域の方へ配っていただき、施設を理解して頂くように努めている。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>研修会や資料により理解を深めるように努めている。</p>		
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>定期的に研修を行い、学び、防止に努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約時に充分説明し、利用者、家族が不安のないようにしている。また、家族からの問い合わせには随時対応している。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている</p>	<p>広報誌、面会時、緊急時、通院時等、状況報告を行っているが、遠方の家族への報告がされていない。</p>		<p>遠方の方への状況報告に関しては家族の安心のためにも、報告頻度及び方法を家族と相談し、月1回位は報告を行なえる様に今後の取り組みが期待されます。</p>
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>意見、要望用紙を玄関先に置いている。今まで用紙への記入は無いが、口頭で直接話してくれる為、すぐ職員間で話し合い改善に努めている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人の方針で、グループホームの異動は出来るだけ行わないようにしている。しかしやむを得ず異動がある場合は細かい部分まで引継ぎを行い、利用者に支障が無いように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	採用時研修は計画通り行われている。外部研修に関しては研修後に職員会議や毎日のミーティングで報告し共有を図っている。		
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他施設の見学に行ったり、西北五地区のグループホーム協会の交流の中で情報交換を行い、サービスの質向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前にアセスメントの確認や家族との面談、利用者の方にはホームを見ていただき安心して入居出来るように支援している。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の知恵や利用者間同志の行動、会話から生き方を教えられることもある。また、軽作業、料理、漬物等は利用者から教えてもらいながら一緒に行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</p>					
<p>1. 一人ひとりの把握</p>					
17	30	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>センター方式で細かくアセスメントを行う事により、本人の意向把握が出来、言葉に出せない思いをくみ取ること努めている。</p>		
<p>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</p>					
18	33	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>利用者もカンファレンスに入って頂き本人の意向を確認しながら、また家族の意見も聞きながら介護計画が作成されているため、役割や生活面も反映されたケアプランとなっている。</p>		
19	34	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>3ヶ月に1回の見直しと、ケース担当者が月1回評価、モニタリングを行い変化が生じた時は随時見直しを行っている。</p>		
<p>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</p>					
20	36	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>通院時、送迎の支援を行っている。同じ敷地内にある特養へ行きりハビリを行っている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族へホームの協力医院について説明し同意を得ている。又、入居前からのかかりつけ医を継続して利用している利用者もいる。		
22	44	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	終末期に関しての取り決めがされていない。		今後は、重度化した場合や、終末期に関して家族からの希望があった時の対応のためにもホームの方針を話し合うことが望まれます。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	広報誌の写真掲載は家族の同意を得ている。また、居室の表札は掛けずプライバシーに配慮している。		
24	49	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	畑作業、ちぎり絵、手芸、編物、花の水やり等、個人の趣味が継続できるように支援している。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>毎日の献立は利用者と一緒に考えている。また、食材も一緒に買いに行き、魚は利用者が決めている。調理台はアイランド式を取り入れ、とても機能的で利用者と一緒に準備や片付けを行っている。また、食事は一緒にテーブルで会話もあり楽しい雰囲気の中で摂っている。</p>		
26	54	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している</p>	<p>浴室は檜の個浴で十分な癒しを感じられる。希望すれば毎日でも入浴できる。</p>		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	<p>役割、楽しみごと、気晴らしの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている</p>	<p>花の水やりや、食事の準備、後片付け等、一人ひとりの役割がある。居間にはソファがあり廊下にも木製の長椅子が置かれ一人になる空間もあり、気晴らしの支援がされている。</p>		
28	58	<p>日常的な外出支援</p> <p>事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している</p>	<p>散歩、ショッピングは頻回に行われている。また、季節ごとの行事、さくら祭り、うめ祭り等は出来るだけ家族と一緒に楽しんで頂けるように取り組んでいる。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	マニュアルが作成されている。また、見直しも行われ職員も理解しており、身体拘束のないケアに取り組んでいる。		
30	63	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間みの施錠である。職員が常に居間において、利用者の状況把握に努めている。外出したい時には希望に沿って対応している。		
31	68	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練は年2回と敷地内全施設での訓練、夜間訓練も行っている。また、運営推進会議でも防災関係について話し合い、協力をお願いしている。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は利用者に相談しながら職員が立て、同法人施設の栄養士からアドバイスをもらっている。食事摂取量の把握は職員と一緒に食事を摂っているため把握できているが、極端に摂取量が少ない時には用紙に記入している。		
33	75	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルがあり定期的に見直しも行われている。洗面所にはペーパータオル、消毒液が設置され予防に努めている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居間の窓が大きく外の緑一杯の景色が堪能できる。玄関は純和風である。また、天井は吹き抜けのため、全体がとても広く明るく感じられる。キッチン是对面式のため利用者の状況把握も出来ている。安心して心地よく過ごせる工夫がされている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には使い慣れた物が置かれその利用者の個性に応じた居心地よい部屋となっている。</p>		

 は、重点項目。